



1/10000 の地形図と調査ルート（数字は観察地点・写真の番号）

そして、生徒に自主的・自発的な学習を促すうえで、生徒に何を見学させ、考えさせるかを検討した。野外での観察・調査は、地域の生きた事象に直接触れることであり、地理学習にとって必要不可欠な

ものである。事前の学習、調査目的・調査の方法・調査の内容を明確にさせた。

そのために、なお、その際、野外での調査・観察とともに、縮尺の大きな地図を用いて、地図と実際の事象とを対比させるような学習活動も当然考えられるが、このことは、縮尺の大きな地図を読むことの学習とともに、実際の事象を地図化し、地域の特色を総合的にとらえるうえでも重要な学習となる。

「柳津町上佐波地区の地形についての調査と研究」学習指導案

| | |
|-----------|---|
| 1 使用教材 | 教科書 詳説地理 最新版(二宮書店) 補助プリント 地図帳 高等地図帳 最新版(二宮書店) 地形図 1/25000(岐阜市南部) |
| 2 指導単元 | 地域の調査と研究(- 柳津町上佐波地区の地形を対象として -) |
| 3 単元の指導目標 | 1 身近な地域の生きた事象に関心を持つとともに、野外での観察や調査は地理学習にとって不可欠なものであることを理解する。(関心・意欲・態度)(知識・理解) 2 地形図の読図と野外調査の実施を通して、地域調査の方法や整理の仕方を習得する。(知識・理解)(表現・技能) 3 地域の調査を通して、地域の歴史を学ぶとともに、自然の特色や変化を考察する。(知識・理解)(思考・判断) |
| 4 単元の配当時間 | 1 地図の機能と活用 1時間 2 地域調査と研究 3時間 本時(2時間目/3時) |
| 5 本時の目標 | 1 地図の利用と野外調査を通して、地域調査に興味・関心を持たせ、地域を積極的に理解する態度を身に付ける。(関心・意欲・態度) 2 自然堤防と後背湿地の特色と土地利用を理解するとともに、近年の土地利用の変貌を考察する。(思考・判断)(知識・理解) 3 集落内にある水屋や寺等への理解を通して、先人達の水害に対する工夫と取り組みを思考する。(思考・判断)(知識・理解) |

| 6 本時の展開 | | | |
|-----------|--|--|---|
| 過程 | 学習項目(隣のねらい) | 学 習 活 動 | 指導上の留意点・観点別評価 |
| 導入 15分 | <ul style="list-style-type: none"> ・自然堤防の位置を理解させる。 ・寺の場所を理解させる。 ・調査ルートを確認させる。 | <p>自然堤防と後背湿地の場所の理解 地形図上の古木曾川(現境川)の自然堤防を着色する。</p> <p>寺の場所の理解 地形図上で寺に印をつける。</p> <p>地形図上で地域調査のルートの確認 地形図上にて調査ルートをなぞる。</p> | <p>地図上の自然堤防の位置や寺の場所、調査ルートを地図上で確認させることにより、地域調査への興味・関心を引き出す。(関心・意欲・態度)</p> <p>上佐波地区集落が古木曾川の自然堤防上に位置していることを理解させる。(知識・理解)</p> |
| 展開 75分 | <ul style="list-style-type: none"> ・自然堤防上の土地利用とその理由について理解させる。 ・水屋の特徴と機能について理解させる。 ・寺と地域との結びつきを理解させる。 ・地域の歴史を理解させる。 | <p>野外調査</p> <p>自然堤防上の土地利用の理解 Q1) 自然堤防上はどのような土地利用がされているのか。その理由は。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旧道や旧家(集落)は、自然堤防上にあることを理解する。 旧道や旧家の高さを、他の部分(後背湿地)と比べる。 旧家の礎石(石組み)の高さを測定する。 道標を見学する。 <p>水屋の特徴と機能の理解 水屋を観察する。 水屋の礎石(石組み)の高さを測定し、他の旧家と比較する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然堤防上における水屋の機能や人々の生活の知恵を説明する。 ・水屋の造りと役割を理解する。 <p>寺の役割の理解 等光寺の礎石(石組み)の高さを概観する。 等光寺の鐘楼を見学する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鐘楼の役割について考える。 ・等光寺の鐘楼の歴史について説明する。 ・佐波地区の寺の多さを理解する。 <p>地域の歴史の理解 毘沙門堂、薬師堂を見学する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毘沙門堂、薬師堂の歴史を説明する。 ・毘沙門堂、薬師堂の歴史と地域との結びつきを理解する。 七墓地蔵を見学する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・地形図と実際の調査場所とを比較させながら考えさせる。(思考・判断) ・後背湿地へと続く旧家の礎石の高さの変化を概観させる。 ・旧家や水屋の礎石の高さを測定することにより、昔の水害の程度を推し量る。(思考・判断) ・水害との関係の中で、自然堤防上における水屋の機能や人々の生活の知恵を理解する。(知識・理解) ・水害との関係で、鐘楼の役割について考えさせる。(思考・判断) ・水害時の緊急避難場所としての寺の重要性と地域との結びつきを理解する。 |

| | | | |
|------------|--|--|--|
| | <ul style="list-style-type: none"> 地域の発展と宅地化を理解させる。 | <ul style="list-style-type: none"> 七墓地蔵の歴史を説明する。 <p>Q2) 後背湿地は、どのように、なぜ変貌してきたか。</p> <p>玄番排水機場を見学する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 後背湿地の箇所への宅地化を理解する。 宅地化に伴う道路の整備を理解する。 堤防や灌漑の整備及び都市化の進行によって、住宅地が拡大してきたことを推測する。 | <ul style="list-style-type: none"> 水害をいかにして克服してきたかを考えさせる。(思考・判断) 地形図との比較で、宅地や道路がどのように拡大・整備されてきたか考える。 (思考・判断) |
| まとめ 10分 | 本時のまとめを行う。 | <ul style="list-style-type: none"> 自然堤防と後背湿地の特徴及び土地利用とその変化、寺や神社などの地域との結びつきの歴史を復習する。 | <ul style="list-style-type: none"> 関心・意欲・態度、思考・判断、表現・技能、知識・理解の観点より行う。 |

身近にある自然堤防や後背湿地を見てみて、土地利用の状況がよく分かった。